

岩田合同法律事務所 ニュースレター
2025 年 11 月

情報・テクノロジー



パネルディスカッションセミナー 「グローバル・プライバシー及び AI 規制の最新動向」

弁護士 [松田 章良](#)
弁護士 [池田美奈子](#)
弁護士 [足立 理](#)

2025 年 10 月 30 日、丸ビル 8 階カンファレンスルームにおいて、当事務所が加盟する PrivacyRules¹（データ保護、AI 及びサイバーセキュリティに関する国際団体。詳細は下記 1 ご参照。）との共催で、パネルディスカッションセミナー「Data Without Borders: Trust, Tech & Global Solutions（グローバル・プライバシー及び AI 規制の最新動向）」²（以下「本セミナー」といいます。）を開催いたしました。本セミナーは、全編英語で実施されましたが、当事務所初の試みとして、InterTraduction³が提供する音声認識型 AI 翻訳ツールを利用し、同時通訳的に発言内容の和訳表示を行いました（詳細は下記 3 ご参照。）。

¹ <https://privacyrules.com/>

² https://e-ve.event-form.jp/event/114121/igseminar_pr02

³ <https://intertraduction.com/>

1. PrivacyRules について

PrivacyRules は、欧州、北米、南米及びアジアを含む世界各国から、データ保護、AI 及びサイバーセキュリティ分野の弁護士・専門家が加盟する国際団体です。データ保護コンプライアンス支援、データ漏えい対応、AI ガバナンス体制構築等に関する助言を、グローバルに、かつ、ワンストップで提供するための国際的ネットワークであり、法務、IT 及び広報・カスタマーコミュニケーションの専門性を統合し、信頼性・効率性・使い易さを重視した支援を行っています。例えば、外国居住者の個人データを含むデータの漏えいが発生した場合、各国の法令・ルールに照らした状況の分析が必要となり、場合により複数の国において当局対応が求められますが、当事務所は PrivacyRules の加盟ファームとして、世界各国の弁護士・専門家とリアルタイムで連携し、ワンストップで迅速かつ一貫した対応を行うことが可能です。

2. 本セミナーについて

本セミナーは以下の各議題に関する 4 つのパネルディスカッションにより構成され、ブラジル、中国、インド、台湾、フランス、シンガポール、ベルギー、米国、ドイツ、韓国を含む世界各国から、PrivacyRules に加盟する弁護士・専門家に登壇いただきました。当事務所からは、データ・テクノロジーチームの Co-Head を務める松田章良弁護士及び池田美奈子弁護士が、モデレーター及びパネリストとして参加いたしました。

【パネルディスカッション議題】

1. Beyond Europe's horizon: Why GDPR compliance isn't a global safeguard (グローバルなデータ・コンプライアンス体制における GDPR の位置付け)
2. Cross-border data: fueling growth, mitigating risk (データの越境移転の促進とリスク低減)
3. Global breach response: Beyond reactive tactics (グローバルなデータ漏えいへの対策)
4. AI compliance: bridging policy & practice globally (グローバルな AI 規制コンプライアンス)



データ保護、AI 及びサイバーセキュリティに関する各国規制動向について、様々な意見交換がなされましたが、総じて、「信頼を設計し、ユーザーに説明できる運用を行うことが、企業における今後のグローバル成長の要でないか」という点で多くの登壇者の意見が一致しました。また、コンプライアンス枠組みを土台として、暗号化、アクセス管理等の“技術”と、設計・説明・記録に関する“運用”とを一体化し、ユーザーが「守られている」、「見える」、「選べる」と感じる 것이重要であるとの指摘や、各国の規制・執行に差異はあるものの、データの流れの可視化、AI システムに対する人間の関与等について、事後的な監査を可能とする手続文書の整備を標準業務に組み込めば、どの地域でも概ね通用する体制を構築し得るとの指摘もありました。グローバルコンプライアンスには、罰則回避という受け身の姿勢で臨むべきではなく、むしろそれを事業機会拡大の推進力（品質保証・国際的な信頼の源泉）とすべく、積極的な姿勢で臨むべきである、という点にも、多くの登壇者が賛同していました。

3. InterTraduction 音声認識型 AI 翻訳ツールについて

本セミナーでは、InterTraduction が提供する音声認識型 AI 翻訳ツールを利用し、ご来場のお客様には、会場前方のスクリーン、又は、お客様ご自身のスマートフォンその他の端末から、登壇者の発言内容の機械和訳をご覧いただきました。

AI 翻訳ツール全てに当てはまりますが、文章の区切れ、話し言葉独特の表現等を正確に読み取ることが困難であるため、登壇者とは事前にリハーサルを重ね、入念な準備を行いました。本番も意味のおおる和訳が相応に表示されており、人間による同時通訳に代替するテクノロジーのポテンシャルの高さを垣間見れたのは大きな収穫でしたが、それでもやはり不正確な和訳が全体を通じて散見されました。特に日本語と英語とは文法構造が全く異なるため、実用性の向上にはまだ少し時間がかかる可能性があります。それでもここ数年における AI 技術の目を見張る性能向上を踏まえると、セミナー、ウェビナー等における AI 翻訳ツールの利用があたりまえになる未来はそう遠くないのかもしれません。



4. 結び

本セミナーでは、グローバル企業を含む多数のクライアントの皆様にご来場いただき、データ保護、AI 及びサイバーセキュリティに対する皆様の関心の強さを改めて実感いたしました。昨今、日系企業を標的としたサイバー攻撃が世間の耳目を集めていることもあり、複数法域に跨るデータ・テクノロジー課題への法的対応は、この先ますます重要度を増していくと予想されます。当事務所は、コンプライアンスの設計・運用、データ漏えい対応、外国当局対応、AI ガバナンス体制構築、データ移転評価、サプライヤー管理等の幅広い分野で、実務的な解決策を提供すべく、今後も PrivacyRules 加盟事務所を含む有力な海外法律事務所と緊密に連携してまいります。

【執筆者】



松田章良

Email: amatsuda@iwatagodo.com

2006 年東京大学法学部卒業、2015 年 Columbia Law School (LL.M.) 修了 (Harlan Fiske Stone Scholar 受賞)。2008 年弁護士登録、2019 年 NY 州弁護士登録。個人情報保護、国際関係法務・渉外業務 (取引)、IT・サイバー法に係る案件、国際仲裁・国際紛争解決案件、大規模かつ複雑な訴訟・紛争解決案件を主に取り扱う。



池田美奈子

Email: minako.ikeda@iwatagodo.com

2009 年 Michigan Law School (LL.M.) 修了、2010 年早稲田大学大学院法務研究科修了。2010 年 NY 州弁護士登録、2013 年弁護士登録。コーポレート案件、クロスボーダーの取引案件を中心に、データ・プライバシーやヘルスケア分野の案件を多く手掛ける。



足立理

Email: makoto.adachi@iwatagodo.com

データ・テクノロジーチーム及び知的財産法チームに所属し、データ・IT・通信分野 (特に個人情報保護法、AI 関連法)、知的財産法分野 (特に著作権法、商標法、不正競争防止法) を専門とする。グローバル B2C 企業への出向経験を有し、現場実務に根差した助言を強みとするほか、ソフトウェア・デジタルサービスにおける契約・コンプライアンス対応、広告・表示規制対応、データ利活用・越境移転規制対応等を幅広く支援している。

岩田合同法律事務所

1902 年 (明治 35 年)、司法大臣や日本弁護士連合会会長を歴任した故・岩田宙造弁護士が「岩田宙造法律事務所」を開設したことに始まる、我が国において最も歴史のある法律事務所の一つです。開設当初より、我が国を代表する企業等の法律顧問として多数の企業法務案件に関与しております。日本法弁護士約 120 名が東京・札幌の両オフィスに所属し、日本語対応も可能な中国法弁護士、フランス法弁護士、米国各州弁護士資格を有する多数の弁護士のほか、特別招聘顧問として元最高裁判所長官大谷直人氏、特別顧問として前公正取引委員会委員長古谷一之氏、前金融庁長官井藤英樹氏が在籍しております。

〒100-6315 千代田区丸の内二丁目 4 番 1 号 丸の内ビルディング 15 階
岩田合同法律事務所 広報: newsmail@iwatagodo.com

※本ニュースレターは一般的な情報提供を目的としたものであり、法的アドバイスではありません。また、その性質上、法令の条文や出展を意図的に省略している場合があり、また情報としての網羅性を保証するものではありません。個別具体的な案件については、必ず弁護士にご相談ください。